

令和 3 年度事業報告書

(令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで)

本団においては、京都府水産総合振興センターの 1 機関として、京都府と連携しながら、海洋生物資源の維持・増大と海洋環境の保全に努力するとともに、漁業、漁村の振興、発展に寄与することを目的に活動しました。

令和 3 年度の本団の業務執行状況は、魚類関係ではマダイ種苗を約 611 千尾生産、配付するとともに、貝類関係では、令和元年産クロアワビ種苗を 234 千個、平成 29 年産、30 年産及び令和元年産サザエ種苗を約 245 千個配付しました。サザエ種苗については、令和元年産種苗の生産不調により、生産、配布目標を達成することができませんでしたが、マダイ、クロアワビについては目標を達成することができました。また、大型アワビについては、配布目標とする 65mm サイズを超える大型サイズの需要が低調で 599 個の配布にとどまりました。

これらの種苗配付による本年度の受取種苗生産負担金額は、サザエ種苗配布個数の減少もあり、近年の最少額であった昨年度を下回ることが懸念されましたが、昨年度を約 100 万円上回る 1,620 万円となりました。

なお、京都府の委託事業として実施したトリガイ種苗の中間育成事業については、飼育管理の不備と例年に比べて海水中の食物プランクトン量が少なかつたことなどにより、514 千個の配付にとどまり目標の 540 千個を配布することはできませんでした。来年度以降の対策として、京都府の指導のもと再発防止策を作成しました。

栽培漁業センターは昭和 56 年の開所以来 40 年が経過し、施設等の老朽化が著しく進行しています。3 号、4 号海水濾過器は設置後それぞれ 35 年、32 年経過し、腐食による本体穿孔のため使用不能となる事態が懸念されます。また、アワビ種苗生産の防疫で不可欠な紫外線海水殺菌装置は設置後 21 年経過し、老朽化による殺菌能力の低下が懸念されます。安定的な種苗生産を阻害するハード面の課題は年々大きくなっていますが、今後も京都府と適宜、協議を継続して修繕などにより施設改善が的確に実施されるよう努めてまいります。

また、ソフト面では、これまでに定年退職した職員 3 名の種苗生産技術を次世代に着実に継承していくことが喫緊の課題となっていますが、来年度には新規職員を採用して対応していく予定です。

一方、本団の経理については、公益法人移行に伴う義務的経費の増加や、超低金利下での果実収入の減少、栽培漁業センター施設の老朽化に伴う修繕費の増加等、非常に厳しい状況にありますが、一部資産の国債運用など、本年度以降も収入増加に引き続き努力していきたいと考えています。

今後も厳しい環境が予想されますが、種苗生産目標を達成できるよう創意工夫と努力を継続し、一層の経営改善を図るため、さらなる運営経費の節減や、効果的な資産運用を図り、経営の安定化に努めてまいります。

1. 主な庶務事項

(1) 評議員会・理事会

年 月 日	事 項
令 3. 4. 7	理事会を開催(書面表決) (議事事項) 1. 評議員会の決議の省略について (承認決定) 2. 理事の候補者について (承認決定) 3. 専務理事辞任に伴う後任候補者について (承認決定)
4. 30	評議員会を開催(書面評決) (議事事項) 1. 理事4名の補欠選任について (可決承認)
5. 25	理事会を開催 (議事事項) 1. 公益財団法人京都府水産振興事業団副理事長の選定について (承認決定) 2. 公益財団法人京都府水産振興事業団令和2年度業務報告及び決算報告について (承認決定) 3. 評議員会附議事項について (承認決定) 4. 資産の運用について (承認決定)
6. 21	定期評議員会を開催 (議事事項) 1. 公益財団法人京都府水産振興事業団令和2年度業務報告及び決算報告について (可決承認) 2. 公益財団法人京都府水産振興事業団令和3年度事業計画及び予算について (可決了承) 3. 任期満了に伴う理事の選任について (可決承認)
11. 24	理事会を開催 於 舞鶴市 1. 公益財団法人京都府水産振興事業団令和3年度上半期の業務報告について (承認決定)
令 4. 2. 21	理事会を開催 (議事事項) 1. 公益財団法人京都府水産振興事業団令和3年度業務報告について (承認決定) 2. 公益財団法人京都府水産振興事業団令和4年度事業計画及び予算について (承認決定) 3. 資産の運用について (承認決定)

(2) 諸会議への出席関係

年月日	事項	
令3. 4. 2	京都府漁協組合員資格審査委員会に出席	於 宮津市
6	「海の民学舎」7期生入舎式に出席	"
28	京都府資源管理協議会総会、定例会に出席	"
6. 24	京都府資源管理協議会総会、定例会に出席	"
7. 5	京都府水産業成長産業化審査会に出席	於 京都市
7	「海の民学舎」運営協議会定例委員会に出席	於 舞鶴市
26	京都府水産業成長産業化審査会に出席(オンライン開催)	於 京都市
8. 10	日本海栽培漁業センター所長連絡会議に出席(書面)	於 富山県
10	日本海種苗生産研究会に出席(書面)	"
27	ふるさと海づくり大会実行委員会に出席(書面)	於 舞鶴市
9. 22	京都府資源管理協議会定例会に出席	於 宮津市
29	京都府水産業成長産業化審査会に出席(オンライン開催)	於 京都市
10. 22	京都府漁協組合員資格審査委員会に出席	於 宮津市
25	京都府資源管理協議会定例会に出席	"
25	海の民学舎運営協議会関係機関連絡会議に出席	"
11. 29	京都府資源管理協議会定例会に出席	於 宮津市
12. 24	京都府資源管理協議会定例会に出席	"
令4. 1. 27	令和3年度京都府遊漁船業者等講習会に出席	"
28	京都府資源管理協議会定例会に出席	"
2. 24	京都府種苗配付協議会(第1回)を開催、出席	"
3. 4	海の民学舎修了式(第6期生)に出席	"
11	ブランド認証審査会に出席	於 舞鶴市
18	京都府種苗配付協議会(第2回)を開催、出席	於 宮津市
18	第49回アワビ種苗生産担当者会議に出席(書面)	於 鳥取県
22	京都府水産業成長産業化審査会(オンライン)に出席	於 京都市
25	京都府資源管理協議会総会、定例会に出席	於 宮津市

(3) 契約関係

年月日	契約名	相手方	契約内容	契約期限
令3. 4. 1	土地賃貸借契約	国立研究開発法人水産研究・教育機構	国立研究開発法人水産研究・教育機構宮津庁舎用土地の賃貸 (4,060,977円)	令4. 3. 31

(4) 認可・許可・承認・届出及び補助金関係

年月日	事 項	摘要
令3. 3. 26	令和3年度栽培漁業振興事業費補助金交付申請(39,500,000円)	京都府知事
4. 1	令和3年度栽培漁業振興事業費補助金交付決定(39,500,000円)	"
6. 7	辞任に伴う理事(4名)の変更登記完了届	"
25	令和2年度事業報告等提出	"
8. 4	会員の届出事項変更届	京都府信漁連
令4. 3. 17	令和4年度事業計画及び予算の提出	京都府知事

(5) 人事労務関係

年月日	事 項
令3. 4. 1	小倉正規、中嶋清志を再雇用
1	永濱雅和を非常勤嘱託として採用
9. 27	職員採用試験を実施
30	試験の結果、採用(1名)を内定
30	関 正仁 退職

(6) 登記関係

年月日	事 項	摘要
令3. 5. 31	辞任に伴う理事の変更登記(理事4名)	京都地方法務局

(7) 検査・監査関係

年月日	事 項
令3. 4. 27	令和2年度業務監査(監事監査)
11. 9	令和3年度上期事業監査(監事監査)
令4. 1. 11	京都府監査委員事務局監査

2. 事業関係事項

(1) 重要海洋生物資源の種苗生産・放流及び種苗供給等に関する事業

(ア) マダイの生産と配付

種苗生産と中間育成

令和3年5月17日、27日に合計436万粒を採卵した。

7月7日、14日に各々(TL 25.4mm、305千尾)、(TL 24.8mm、330千尾)を沖
出して中間育成を実施した。

配付実績

月 日	サイズ(mm)	配付尾数(尾)	放流場所	配付先機関名	備 考
7月 28日	50	200	地先	京都府海洋センター	放流
8月 2日	50	14,000	地先	株式会社 KANSO テクノス	放流
8月 3、4日	54.5	597,100	マダイの里	事業団	拠点放流
合 計		611,300			

(イ) アワビの生産と配付

種苗生産と中間育成

令和元年度産種苗の令和4年3月末での在庫数は、平均殻長43.7mmで1千個。

令和2年度産種苗の令和4年3月末での在庫数は、平均殻長29.4mmで329千個。

令和3年度産種苗の令和4年3月末での在庫数は、波板飼育が平均殻長6.0mmで
278千個、カゴ飼育が平均殻長10.8mmで184千個。

配付実績

月 日	サイズ(mm)	配付個数(個)	放流場所	配付先機関名	備 考
5月 20日	29	30,000	地先	宮津支所(小田宿野)	1年産
5月 24日	29	1,900	地先	大浦支所(野原)	1年産
5月 24日	29	10,300	地先	養老支所	1年産
5月 24日	29	5,100	地先	宮津市水産振興財団(養老)	1年産
5月 24日	29	2,900	地先	府水視組合連合会(養老)	1年産
5月 24日	29	1,000	地先	伊根支所(伊根)	1年産
5月 24日	29	10,500	地先	丹後支所	1年産
5月 24日	29	3,800	地先	府水視組合連合会(丹後)	1年産
5月 25日	29	2,000	地先	大浦支所(小橋)	1年産
5月 25日	29	4,000	地先	大浦支所(三浜)	1年産
5月 25日	29	2,400	地先	宮津市水産振興財団(江尻)	1年産
5月 25日	29	1,500	地先	伊根支所(新井)	1年産
5月 26日	29	5,900	地先	大浦支所(田井)	1年産

月 日	サイズ(mm)	配付個数(個)	放流場所	配付先機関名	備 考
5月 26日	29	2,400	地先	大浦支所(成生)	1年産
5月 26日	29	2,900	地先	府水視組合連合会(大浦)	1年産
5月 26日	29	6,300	地先	宮津市水産振興財団(島陰)	1年産
5月 26日	29	1,000	地先	伊根支所(泊水視組合)	1年産
5月 27日	29	6,300	地先	宮津市水産振興財団(田井)	1年産
5月 27日	29	10,300	地先	浦島支所(蒲入)	1年産
5月 28日	29	11,000	地先	舞鶴支所	1年産
5月 28日	29	9,300	地先	網野支所	1年産
5月 31日	29	6,700	地先	浦島支所(本庄浜)	1年産
6月 1日	29	5,100	地先	湊支所	1年産
7月 2日	28	20,400	地先	ふくい水産振興センター	1年産
7月 2日	24	71,000	地先	ふくい水産振興センター	1年産
合 計		234,000			

(ウ) サザエの生産と配付

種苗生産と中間育成

平成30年度産種苗の令和4年3月末での在庫数は、平均殻高24.2mmで13千個。

令和元年度産種苗の令和4年3月末での在庫数は、平均殻高26.2mmで26千個。

また、生産不調につき令和2年6月及び12月に他県から配布を受けた、令和元年度産種苗の令和4年3月末での在庫数は、平均殻高23.6mmで12千個及び平均殻高23.9mmで32千個。

令和2年度産種苗の令和4年3月末での在庫数は、平均殻高20.7mmで68千個。

また、生産不調につき令和3年1月に他県から配布を受けた、令和2年度産種苗の令和4年3月末での在庫数は、平均殻高10.6mmで57千個。

令和3年度産種苗の令和4年3月末での在庫数は、波板飼育が平均殻高3.7mmで36千個、カゴ飼育が平均殻高7.2mmで489千個。

また、生産不調につき令和3年12月に他県から配布を受けた、令和3年度産種苗の令和4年3月末での在庫数は、平均殻高3.2mmで110千個。

配付実績

月 日	サイズ(mm)	配付個数(個)	放流場所	配付先機関名	備 考
5月 20日	27	4,300	地先	宮津市水産振興財団(小田)	29、30、1年産
5月 20日	22	6,500	地先	宮津市水産振興財団(小田)	30、1年産
5月 20日	17	4,300	地先	宮津市水産振興財団(小田)	1年産
5月 24日	27	1,700	地先	大浦支所(野原)	29、30、1年産

月 日	サイズ(mm)	配付個数(個)	放流場所	配付先機関名	備 考
5月 24日	22	2,400	地先	大浦支所(野原)	30、1年産
5月 24日	17	1,700	地先	大浦支所(野原)	1年産
5月 24日	27	5,500	地先	養老支所	29、30、1年産
5月 24日	22	8,200	地先	養老支所	30、1年産
5月 24日	17	5,500	地先	養老支所	1年産
5月 24日	27	3,500	地先	宮津市水産振興財団(養老)	29、30、1年産
5月 24日	22	5,200	地先	宮津市水産振興財団(養老)	30、1年産
5月 24日	17	3,500	地先	宮津市水産振興財団(養老)	1年産
5月 24日	27	3,300	地先	伊根支所(伊根)	29、30、1年産
5月 24日	22	5,000	地先	伊根支所(伊根)	30、1年産
5月 24日	17	3,300	地先	伊根支所(伊根)	1年産
5月 24日	27	3,700	地先	丹後支所	29、30、1年産
5月 24日	22	5,600	地先	丹後支所	30、1年産
5月 24日	17	3,700	地先	丹後支所	1年産
5月 25日	27	1,400	地先	大浦支所(小橋)	29、30、1年産
5月 25日	22	2,000	地先	大浦支所(小橋)	30、1年産
5月 25日	17	1,400	地先	大浦支所(小橋)	1年産
5月 25日	27	700	地先	大浦支所(三浜)	29、30、1年産
5月 25日	22	900	地先	大浦支所(三浜)	30、1年産
5月 25日	17	700	地先	大浦支所(三浜)	1年産
5月 25日	27	1,800	地先	宮津支所(江尻)	29、30、1年産
5月 25日	22	2,700	地先	宮津支所(江尻)	30、1年産
5月 25日	17	1,800	地先	宮津支所(江尻)	1年産
5月 25日	27	1,800	地先	宮津市水産振興財団(江尻)	29、30、1年産
5月 25日	22	2,700	地先	宮津市水産振興財団(江尻)	30、1年産
5月 25日	17	1,800	地先	宮津市水産振興財団(江尻)	1年産
5月 25日	27	1,300	地先	伊根支所(新井)	29、30、1年産
5月 25日	22	2,000	地先	伊根支所(新井)	30、1年産
5月 25日	17	1,300	地先	伊根支所(新井)	1年産
5月 25日	27	9,900	地先	湊支所	29、30、1年産
5月 25日	22	15,100	地先	湊支所	30、1年産
5月 25日	17	9,900	地先	湊支所	1年産
5月 26日	27	500	地先	大浦支所(成生)	29、30、1年産
5月 26日	22	700	地先	大浦支所(成生)	30、1年産

月 日	サイズ(mm)	配付個数(個)	放流場所	配付先機関名	備 考
5月 26日	17	500	地先	大浦支所(成生)	1年産
5月 26日	27	700	地先	宮津市水産振興財団(島陰)	29、30、1年産
5月 26日	22	900	地先	宮津市水産振興財団(島陰)	30、1年産
5月 26日	17	700	地先	宮津市水産振興財団(島陰)	1年産
5月 26日	27	3,300	地先	伊根支所(泊)	29、30、1年産
5月 26日	22	5,000	地先	伊根支所(泊)	30、1年産
5月 26日	17	3,300	地先	伊根支所(泊)	1年産
5月 27日	27	700	地先	宮津市水産振興財団(田井)	29、30、1年産
5月 27日	22	900	地先	宮津市水産振興財団(田井)	30、1年産
5月 27日	17	700	地先	宮津市水産振興財団(田井)	1年産
5月 27日	27	2,300	地先	浦島支所(蒲入)	29、30、1年産
5月 27日	22	3,500	地先	浦島支所(蒲入)	30、1年産
5月 27日	17	2,300	地先	浦島支所(蒲入)	1年産
5月 28日	27	15,000	地先	舞鶴支所	29、30、1年産
5月 28日	22	22,500	地先	舞鶴支所	30、1年産
5月 28日	17	14,800	地先	舞鶴支所	1年産
5月 28日	27	7,100	地先	網野支所	29、30、1年産
5月 28日	22	10,800	地先	網野支所	30、1年産
5月 28日	17	7,100	地先	網野支所	1年産
5月 31日	27	1,700	地先	浦島支所(本庄浜)	29、30、1年産
5月 31日	22	2,400	地先	浦島支所(本庄浜)	30、1年産
5月 31日	17	1,700	地先	浦島支所(本庄浜)	1年産
7月 29日	20	100	研究	水産技術研究所	1年産
1月 17日	20	200	研究	水産技術研究所	1年産
合 計		245,500			

(エ) 種苗の幹旋

幹旋実績

月 日	サイズ(mm)	幹旋尾数(尾)	放流場所	幹旋先機関名	備 考
7月 15日	62.4	5,000	中間育成	京丹後市(府漁協湊支所)	ヒラメ (福井県)
9月 1日	50	10,000	久美浜湾	府漁協湊支所	クロダイ (石川県)

(2) 大型クロアワビの種苗生産、養殖技術に関する研究開発事業

大型クロアワビの在庫数と配付

在庫数（令和4年3月末現在）

50mm 以下 : 3,080 個

50mm : 0 個

60mm : 320 個

70mm : 5,880 個

80mm 以上 : 2,340 個

合計 : 11,620 個

配付実績

月	サイズ(mm)	配付個数(個)	配付先機関名	備 考
4月分	55	24	民宿組合等	
5月分	55~100≤	25	民宿組合等	
6月分	—	0		
7月分	—	0		
8月分	—	0		
9月分	—	0		
10月分	—	0		
11月分	60~75	350	漁業者等	
12月分	—	0		
1月分	—	0		
2月分	75	200	漁業者等	
3月分	—	0		
合 計		599		

(3) トリガイ中間育成委託事業

京都府の委託事業としてトリガイ種苗の中間育成に取組み、種苗を漁業者に配布した。

○中間育成

海洋センターが生産した種苗を本年5月24日、25日、6月7日に沖出しして中間育成を開始。

中間育成によって種苗が10mmサイズに成長したのを確認した後、7月6日から8月5日にかけて漁業者に種苗を配付したが、目標とした540,000個の配付はできなかった。

○配付未達の原因と対策

未達の原因は、飼育コンテナに海水を供給する水中ポンプの掃除の不備と、海水中

の食物プランクトン量が例年になく少ない状況が続き、トリガイ種苗の成長が阻害されたためと考えられた。

次年度以降、同様のことが生じないように、海洋センターの指導を受けて再発防止策を作成した。

配付実績

配布日	配付個数(個)	配布地区	備 考
7月 6日	92,800	舞鶴	
7月 8日	97,500	栗田、江尻、久美浜	
7月 13日	100,000	舞鶴、江尻	
7月 16日	87,700	舞鶴、栗田、久美浜	
7月 20日	66,300	舞鶴	
7月 27日	52,900	舞鶴	
8月 5日	16,800	舞鶴、栗田	
合 計	514,000		

(4) 土地の賃貸に関する事業

本団が所有する土地（19,711.27 m²）に関して、国立研究開発法人水産研究・教育機構と賃貸契約を結び、重要海洋生物の種苗生産技術の開発・研究を実施している宮津庁舎の用地として利用されている。

(付表)

役員・評議員・職員一覧

役員・評議員

(令和4年3月31日現在)

区分		現在数	備考
役員	理事	理事長	1人
		副理事長	2
		専務理事	1
		理事	7
		計	11
	監事	2	
	合計	13	
評議員		9	
総合計		22	

職員

(令和4年3月31日現在)

所属部門	現在数	備考
企画総務部	2人	部長 1 (非常勤) 臨時職員 1
栽培漁業センター	14	所長 1 副所長 1 (業務課長兼務) 技師 1 技術専門員 2 (再雇用) 技術指導員 1 (再雇用) 臨時職員 6 非常勤嘱託 2
合計	16	